

受付番号	48		
許可番号	大歯医倫 第 111075 号		
研究課題名	日本における医療的ケア児の実態調査		
研究責任者	園本 美恵	申請者	園本 美恵
研究終了日	2020 年 6 月 30 日		
所属	小児歯科学講座	所属	小児歯科学講座
職名	講師	職名	講師

申請の概要

医療的ケア児とは、経管栄養や痰の吸引、人工呼吸器の使用のような医療機器によるケアが必要な状態の小児であり、平成 28 年に全国で約 18,272 人に達しており、その後も急激に増加していると考えられている。医科では、NICU や PICU の満床問題から早期に在宅復帰する小児が増加したことへの対応として、日本医師会が 2016 年度に「小児在宅ケア委員会」を立ち上げ、小児在宅ケアへの充実が推し進められてきた。在宅で療養する小児が増加する現状を踏まえ、歯科でも対応に乗り出す必要があり、各地域での取り組みが報告されるようになってきている。

このような背景の中、医療的ケア児の平成 28 年以降の急激な増加に伴い、医療的ケア児の実態（人数、性別、年齢、居住地区、全身状態、医療的環境など）の詳細は、残念ながら不明である。日本小児歯科学会は、このような医療的ケア児に対して、予防を中心として、重症化に至る以前に口腔疾患に対応するため、医療的ケア児の状況をできる限り正確に把握することが必要と考え、本研究の立案に至った。

そこで、本研究では医療的ケア児についてその人数及び居住地域を共同研究機関が協力してデータ化することを目的と

する。

本学は近畿地方を担当し、収集した情報を主たる研究機関である北海道大学に送付する。